

# 令和5年度 事業報告



人間を  
救うのは、  
人間だ。

JAPANESE  
RED CROSS SOCIETY  
HYOGO CHAPTER



# 1

## 災害救護活動

赤十字は、日本赤十字社法、災害救助法、災害対策基本法などによって、災害発生直後から復興期までの救護活動やこころのケア活動を行う組織として位置付けられています。

また、三木市に整備した「日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター」において、施設機能を活かして救護員研修などを実施し、更なる災害救護体制の充実と強化に努めています。

### 1 令和6年能登半島地震における救護活動について

1月1日16時10分、石川県能登地方を震源に最大震度7の地震が発生しました。兵庫県北部でも震度4を観測、津波警報の発表に伴い、避難指示が発令されました。

救護課職員は、直ちに支部庁舎に参集し、情報収集活動を開始しました。兵庫県庁に災害警戒本部が設置されたことを受け、職員を県庁に派遣、警戒本部会議に加わりました。

県内では大きな被害には至りませんでしたが、石川県を中心とし、福井県、新潟県および富山県35市11町1村に災害救助法が適用される地震災害となりました。

特に石川県の被害は甚大で、家屋倒壊や断水などによるライフラインへの影響で、一時、約400か所で避難所が開設され、3万人を超える住民が避難生活を送る状況となりました。

日本赤十字社は、発災直後から石川県支部に救護班の派遣体制を整え、当支部では1月9日から日赤災害医療コーディネーターを派遣、能登町での活動を行い、以降も石川県に救護班の派遣を継続しています。



日赤救護班	派遣元病院	期間	活動場所	活動内容
第1班	神戸	1月10日～14日	輪島市	避難所巡回診療
第2班	姫路	1月13日～17日	輪島市	避難所巡回診療
第3班	神戸	1月20日～24日	輪島市	避難所巡回診療
第4班	姫路	1月25日～29日	輪島市	避難所巡回診療 こころのケア
第5班	神戸	1月28日～2月1日	輪島市	避難所巡回診療 こころのケア

(令和6年1月末現在)

日赤災害医療 コーディネーター チーム	派遣元 病院	期間	活動 場所	活動内容
コーディネーター	神戸	1月9日～24日	能登町	本部活動
コーディネータースタッフ	神戸	1月10日～14日	能登町	本部活動
コーディネータースタッフ	多可	1月13日～17日	能登町	本部活動
コーディネータースタッフ	神戸	1月20日～24日	能登町	本部活動

(令和6年1月末現在)

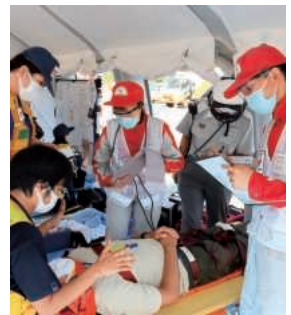
### 2 救護班編成と救護体制の確立及び各種防災・救護訓練の実施

自然災害や大事故が発生し救護活動が必要になった場合に備え、県内3カ所の赤十字病院に医療救護班を編成し、救護活動が途切れることのないように努めています。

あわせて、活動を円滑にするための災害医療コーディネーターチームや被災者へのこころのケアを実践するため、こころのケア班も編成しています。

姫路及び神戸赤十字病院では、災害の超急性期に対応する日本DMAT(災害派遣医療チーム)隊員に66名を登録し、発災直後に医療救護が行えるよう資機材を含め備えています。

兵庫県支部では、今後、いつ発生するかもしれない大災害に備え、訓練の企画等の段階から参画し、他機関と連携した訓練を実施しました。



#### 主な救護訓練参加状況

6月	日本赤十字社	10月	姫路市総合防災訓練・国民保護訓練
	第4ブロック合同災害救護訓練	11月	大阪国際空港航空機事故対策総合訓練
9月	兵庫県合同防災訓練	11月	兵庫県警察本部総合警備訓練
9月	三木市総合防災訓練	11月	近畿地方DMATブロック訓練
9月	第八管区海上保安本部合同訓練	11月	兵庫県石油コンビナート訓練
9月	大規模地震時医療活動訓練	12月	JR列車事故総合訓練

#### 救護員研修会

5月	救護員技術研修
6月	救護員基礎・実践研修
6・9・12月	衛星電話通信研修
7月	災害システム研修
7・9・11月	災害派遣医療チーム技能維持研修
11月	CBRNEテロ対策研修
12月	DMATロジスティクス隊員養成研修

#### 救護班数

姫路赤十字病院	8班
多可赤十字病院	2班
神戸赤十字病院	5班
合計	15班

#### 救護班の編成基準

医師	1人
看護師	3人
主事	2人
1班合計	6人

#### 日本DMAT隊員登録数

	医師	看護師	業務調整員	計
姫路赤十字病院	4人	13人	9人	26人
神戸赤十字病院	10人	6人	24人	40人
合計	14人	19人	33人	66人

### 3 救援物資の備蓄・配付

個人の住宅やマンションが火災や水害等に遭われた際、毛布や緊急セットなどを配付しました。また、不幸にもお亡くなりになられた場合には、ご遺族に災害見舞金を交付しました。



毛布



緊急セット



安眠セット



タオルケット

区分	配布数	備蓄在庫数
毛布	87枚	5,920枚
緊急セット	54セット	3,186セット
安眠セット	0セット	811セット
タオルケット	0枚	6,000枚
災害見舞金の交付6件		120,000円

(令和5年12月末現在)

### 4 赤十字防災ボランティア

赤十字の災害救護活動に協力することを目的として、現在、防災ボランティアリーダー6人、サブリーダー1人、そして個人ボランティア63人が赤十字防災ボランティアとして登録しています。

令和5年度においては、第4ブロック合同災害救護訓練の担当県として、姫路赤十字病院、多可赤十字病院、兵庫県支部、災害救護支援センターで他府県の赤十字防災ボランティアとともに、救援物資の運搬・炊き出し・自動ラップ式トイレの設置などを行いました。



(円)

### 5 国内災害義援金・海外救援金の受付額

令和5年度に兵庫県支部でお受けした災害義援金、海外救援金は次表のとおりです。

義援金	(円)	
	令和5年5月能登地方地震災害	385,493
	令和5年台風第2号等大雨災害	98,743
	令和5年6月30日からの大雨災害	59,060
	令和5年7月7日からの大雨災害	233,039
	令和5年台風第6号災害	6,555
	令和5年台風第13号災害	23,638

救援金	(円)	
	中東人道危機	1,012
	バングラデシュ南部避難民	140,516
	アフガニスタン人道危機	16,506
	ウクライナ人道危機	2,605,799
	2023年トルコ・シリア地震	18,819,753
	2023年アメリカ・ハワイ火災	40,217
	2023年モロッコ地震	254,271
	2023年リビア洪水	497,425
	2023年アフガニスタン地震	17,084
	イスラエル・ガザ人道危機	664,832
海外無指定	50,908	

義援金・救援金 合計	23,914,851
------------	------------

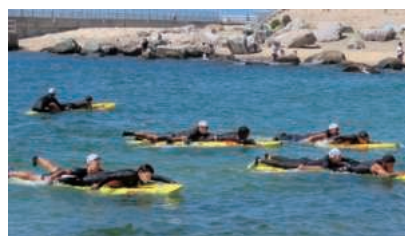
(令和5年12月末現在)

## 2 健康と安全を守る講習

赤十字では、誰もが持っている「苦しんでいる人を助けたいという優しい心」、その優しさを行動に移す“自信”と“勇気”を持っていただけるように、AED(自動体外式除細動器)を活用した心肺蘇生をはじめ、救急法や健康生活支援講習などの講習と赤十字防災セミナーを県内各地やオンラインで開催しました。

開催実績	区分	基礎・養成講習		短期講習		オンライン講習	
		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
	救急法	58	852	151	5,170	18	114
	幼児安全法	5	51	33	525	6	25
	水上安全法	2	25	13	275	—	—
	健康生活支援講習	4	18	12	457	2	3
	防災セミナー	—	—	14	543	5	12

(令和5年12月末現在)



# 3

## 赤十字奉仕団

赤十字の使命とする人道的な諸活動を身近な社会の中で実践しようとする人々が集って結成されたボランティアの組織です。兵庫県支部では、市町を基盤にした地域奉仕団(45団、32,263人)、専門的な技能をもった人々による特殊奉仕団(9団、488人)、学生が中心となった青年奉仕団(2団、140人)が組織され、様々な活動を展開しています。



### 1 地域赤十字奉仕団

#### ① 地域赤十字奉仕団員研修会

9~12月、地域赤十字奉仕団員研修会を県内21地域(新温泉町、西脇市、太子町、神戸市灘区、明石市、伊丹市、川西市、加東市、神戸市東灘区、香美町、姫路市、高砂市、宝塚市、三田市、加西市、丹波市、播磨町、多可町、洲本市、神戸市北区、たつの市)の赤十字奉仕団員417人が赤十字のしくみと活動について講義を受けた後、災害への備え、AEDを使った心肺蘇生などを研修しました。



#### ② 明石市赤十字奉仕団再結成

12月、明石市赤十字奉仕団が18年ぶりに活動を再開しました。  
18名からの出発となりますが、苦しんでいる人を救う活動に団員一丸となって取り組みます。



### 2 特別赤十字奉仕団(青年赤十字奉仕団・特殊赤十字奉仕団)

特別赤十字奉仕団は、点字、無線、潜水、写真、通訳など専門的な知識や技術を活かした活動を展開しています。  
令和5年度は、神戸青年赤十字奉仕団が「第6回あまおだ減災フェス」において体験ブースを出展し、「ぼうさいまちがいがさがしきけんはっけん」、「避難準備グッズを考えよう」という内容で防災・減災の普及啓発に取り組みました。

# 4

## 青少年赤十字

世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年の育成を目的に、学校教育の場で「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の実践目標を掲げ活動を展開しています。加盟校数196校 メンバー数66,212人(令和5年12月末現在)

### 1 中学校高等学校青少年赤十字協議会例会

青少年赤十字の実践目標である「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」をテーマに、学期ごとに例会を実施しています。令和5年度第2学期例会では、青少年赤十字加盟校が主催する「第6回あまおだ減災フェス」において「胸骨圧迫レース」のブースを出展しました。



### 2 青少年赤十字の研修事業

#### ① 第4(近畿)ブロック青少年赤十字指導者研修会

【6月24日、日本赤十字社兵庫県支部:指導者9名】

青少年赤十字の具体的な実践活動と指導方法を習得するため、第4(近畿)ブロックの青少年赤十字加盟校指導者9名が参加し、赤十字の防災教育事業等について情報を共有しました。



#### ② 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

【8月8日~9日、兵庫県広域防災センター:中学生15名、高校生25名、指導者11名】

トレセンについてやボランティアサービス等の学習に加え、救急法競技大会の開催を通して、メンバー同士が協力して一次救命処置の手順や三角巾を使った本結び等の手技を学びました。



### 3 青少年赤十字研究推進校

加盟校における青少年赤十字活動をより充実したものとするため、年度毎に研究推進校を指定し、赤十字の指定するテーマについての研究を委嘱しています。令和5年度は、小学校2校、高等学校2校の計4校を指定し、その研究成果を各学校からWebツールを活用し、兵庫県青少年赤十字研究会にて報告しました。



### 4 提供プログラム

兵庫県支部では、加盟校が各学校のカリキュラムの中で青少年赤十字活動を展開できるよう、「健康・安全」「福祉教育」「国際理解・平和」「防災教育」の4つの分野の活動プログラムを提供しており、令和5年度は延べ67回実施しました。(令和5年12月末現在)

## 5 国際活動

世界191の国や地域の赤十字・赤新月社などと連携して、開発途上国赤十字社の事業への協力支援、また民族紛争や自然災害による被災者支援への緊急及び復興支援などの人道的活動を行っています。

### 1 国際救援・開発協力要員を海外へ派遣

派遣先	シリア・アラブ共和国	業務内容	地震救援事業
派遣期間	R5.4.20～R6.4.25(予定)	派遣者	姫路赤十字病院看護師



### 2 インドネシア・コミュニティ防災事業

世界有数の災害多発国であるインドネシアにおいて、地震と津波などの災害から命を守るため、日本赤十字社はインドネシア赤十字社とともに、コミュニティ防災事業に取り組んでおり、兵庫県支部もこの活動を支援しました。

### 3 海外たすけあいキャンペーン

紛争や災害で苦しむ人々や感染症など病気で苦しむ人々を支援するため、今年で41回を迎える募金キャンペーンを12月に開催し、県内の各地区・分区などを通じて広く県民の皆さまから、また赤十字奉仕団や日赤有功会等の皆さまから多大なご協力をいただきました。

兵庫県支部の実績額 **5,360,940円**



## 6 活動資金

国内外の災害救護活動や各地域で安全安心のため取り組まれる赤十字活動は、活動の意義や理念にご賛同いただいた方々(会員といえます。)からお寄せいただく活動資金と、多くのボランティアの方々の方々の奉仕等によって支えられています。ご協力いただいた活動資金や奉仕活動は、日本赤十字社の組織的基盤であり、活動を推進するうえでの原動力となっています。

### 1 地区・分区における活動資金のご協力額

各地区・分区(県内各市町)におきまして活動資金へのご協力をお願いし、多くの方々からご協力をいただきました。ご協力いただいた活動資金は、被災者の救援活動や災害への備え、そして地域の安全安心のための活動などに役立てられています。

(円)

地区・分区名	ご協力額	地区・分区名	ご協力額	地区・分区名	ご協力額		
神戸市	東灘区	6,469,464	相生市	4,000,000	淡路市	4,629,323	
	灘区	2,152,474	豊岡市	9,617,645	宍粟市	5,009,677	
	兵庫区	1,938,329	加古川市	9,418,570	加東市	3,435,400	
	長田区	2,639,070	赤穂市	6,842,700	たつの市	9,072,900	
	須磨区	2,299,354	西脇市	2,837,439	阪神北	猪名川町	1,166,445
	垂水区	3,194,318	宝塚市	4,339,598	北播磨	多可町	2,366,900
	北区	2,192,632	三木市	2,749,935	東播磨	稲美町	3,372,850
	中央区	1,740,506	高砂市	6,432,690		播磨町	3,266,610
	西区	2,222,097	川西市	9,575,132	中播磨	市川町	1,716,690
神戸市小計	24,848,244	小野市	4,302,247	福崎町		3,372,103	
姫路市	50,213,873	三田市	3,173,555	神河町		1,778,600	
尼崎市	14,663,743	加西市	3,674,945	西播磨	太子町	3,232,625	
明石市	2,744,140	丹波篠山市	4,376,131		上郡町	2,433,200	
西宮市	22,505,663	養父市	3,000,920	但馬	佐用町	3,024,500	
洲本市	2,024,600	丹波市	6,956,930		香美町	2,567,511	
芦屋市	3,230,500	南あわじ市	4,679,710		新温泉町	2,080,600	
伊丹市	4,317,665	朝来市	3,967,319	地区・分区合計	267,019,828		
				支部扱い	171,061,098		
				総計	438,080,926		

(令和5年12月末現在)

# 7

## 医療事業

姫路、多可、神戸の赤十字病院では、いずれも各地域の中核病院として救急医療やへき地医療など安全で安心な医療サービスの提供を行うとともに、日本赤十字社の使命でもある災害救護活動や国際活動を展開できる体制の強化を図りました。

### 姫路赤十字病院

住所:〒670-8540  
姫路市下手野1-12-1  
電話番号:079-294-2251

**標榜科目:**内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、肝臓内科、腎臓内科、糖尿病内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、小児外科、外科、乳腺外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、化学療法内科

### 多可赤十字病院

住所:〒679-1114  
多可郡多可町中区岸上280  
電話番号:0795-32-1223

**標榜科目:**内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、婦人科、眼科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、皮膚科、精神科、麻酔科、歯科

### 神戸赤十字病院

住所:〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通1-3-1  
電話番号:078-231-6006

**標榜科目:**内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、心療内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺外科、形成外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、皮膚科、病理診断科

#### 令和5年度業務実績見込み

区分	姫路		多可		神戸	
	延べ患者数	一日平均	延べ患者数	一日平均	延べ患者数	一日平均
外来患者	325,248	1,344	29,579	122	122,569	506
入院患者	180,804	494	26,505	72	92,461	253

(人)

# 8

## 看護師養成

看護専門学校では、一般の看護教育にとどまらず、国内外における災害救護活動においても活躍できる看護師の養成を行いました。

#### 定員数、在籍者総数

定員数	学年	在籍者総数			
		1年生	2年生	3年生	合計
各学年40名	令和5年度学生数	42	46	36	124

(人)

#### 卒業生

卒業生	卒業生数	国家試験合格率	就職率
令和4年度	37人	100%	100%

(令和5年12月末現在)

# 9

## 血液事業

血液事業では、全国7カ所にブロック血液センターを置き、献血者や血液製剤の安全対策の充実や血液製剤の安定供給をはじめ、事業の効率化、健全な経営基盤の確立を図っています。兵庫県赤十字血液センターは、近畿ブロック血液センター内の地域血液センターとして、県内6カ所の献血ルームと移動採血車で、県民の皆様や県内で働く方々に献血いただく「採血業務」と、血液製剤を県内の医療機関にお届けする「供給業務」を担っています。

本年度においても、前年度に引き続きWeb予約の推進を行うことにより、安定的に献血者を確保して、兵庫県内だけでなく近畿管内全体の安定供給に貢献することができました。

また、献血ルームごとにX(旧Twitter)アカウントを立ち上げる等、SNSを活用して若年層を中心とした幅広い年齢層を対象に、様々な献血推進活動を展開しました。

施設では、令和5年6月末をもって明石運転免許試験場献血ルームを閉所いたしました。また、令和5年12月には但馬地域の「採血業務」と「供給業務」を担っている豊岡出張所を豊岡市日高町へ新築移転いたしました。

- ・ はたちの献血キャンペーン
- ・ 愛の献血助け合い運動
- ・ 全国学生クリスマス献血キャンペーン
- ・ 世界献血者デー
- ・ 献血セミナー (主な取り組み例)

献血者の受入	
成分献血	43,953
400mL献血	109,756
200mL献血	4,129

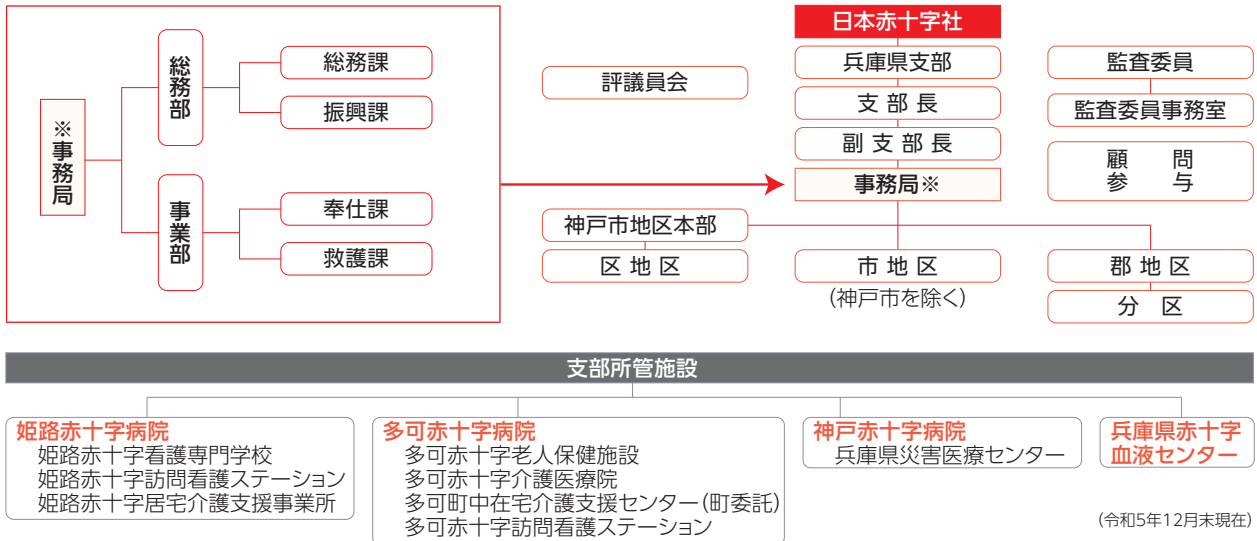
(令和5年12月末現在)

輸血用血液製剤の供給	
赤血球	87,586
血漿	28,197
血小板	20,580

(令和5年12月末現在)

# 10 日本赤十字社兵庫県支部の現勢

■支 部 長 齋藤元彦(兵庫県知事) ■副支部長 山下輝夫(兵庫県保健医療部長)、小原一徳(神戸市副市長)、庵谷典章(兵庫県町村会長)  
■監査委員 3名 ■支部参与 3名 ■協賛委員 8名 ■評議員 54名



# 11 決算報告

令和4年度の各施設等の歳入歳出決算を報告します。令和5年度の決算は次回ご報告いたします。

## 一般会計

個人や法人の皆様からの活動資金等を主な財源に、災害救護、救急法等の講習、青少年赤十字やボランティアの活動など、兵庫県支部の事業にかかる収支をまとめたものです。

科目	決算額	内 訳
歳入	活動資金収入	524,825 一般からの活動資金収入 432,226千円 法人からの活動資金収入 58,225千円 個人住民税控除海外救援金 34,374千円
	補助金、交付金	3,947 本社交付金等
	繰入金	35,674 国際活動資金などから繰入
	前年度繰越金等	84,427 前年度繰越金、雑収入
歳入合計	648,873	
歳出	災害救護事業費	36,039 災害救護に要した費用及び救護装備整備費、救護看護師の養成経費
	社会活動費	57,298 救急法等の講習普及事業費、赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成費など
	国際活動費	35,386 海外赤十字社支援事業費など
	指定事業地方振興費	89,365 災害救護設備整備費、採血受入機関整備費、救急医療体制整備費など
	地区区分交付金	57,764 地区区分への事務費及び事業費の交付金
	社業振興費	53,571 活動資金募集及び会員管理費、広報活動費
	基盤整備交付金	33,230 管内施設への基盤整備交付金
	積立金支出	42,759 災害等資金などへの積立金
	本社送納金	63,672 本社への送納金
	管理費等	123,863 管理事務費、資産管理費など
	歳出合計	592,947
歳入歳出差引額	55,926	

## 医療施設特別会計

医療施設の運営等にかかる収支をまとめたもので、赤十字病院等医療施設の診療収入を主な財源として、医療施設運営のための費用等に充てられます。

科目	決算額	内 訳
収益的収入	医業収益	36,324,459 入院及び外来の診療等にかかる収益 入院患者数 288,452人 外来患者数 498,601人
	医業外収益	3,758,874 駐車場や売店等の収益、受取利息等
	医療社会事業収益	42,980 医療社会活動にかかる本社繰入金など
	付帯事業収益	3,155,678 看護専門学校、老人保健施設等の収益
	特別利益	9,924 上記に含まれない過年度収益など
	収益的収入合計	43,291,915
収益的支出	医業費用	34,759,365 人件費、材料費、委託費など
	医業外費用	285,102 支払利息、駐車場等の管理費など
	医療奉仕費用	564,073 医療社会活動にかかる人件費・経費など
	付帯事業費用	3,298,878 看護専門学校、老人保健施設等の運営にかかる経費など
	特別損失	13,607 固定資産にかかる除去損など
	法人税等	16,874 税負担など
収益的支出合計	38,937,899	
収支差引額	4,354,016	黒字施設数 3施設 黒字額 4,354,016千円 赤字施設数 0施設

※平成24年度から血液事業特別会計は、日本赤十字社本社にて一元化されたため記載しておりません。

# あなたの身近に赤十字

## 1 あなたの街の災害救援車

県内の各市町での災害救援や赤十字活動を支援するために災害救援車を配備しています。令和5年度は、垂水区、明石市、赤穂市、三田市、新温泉町の5台の車両を更新しました。



## 2 救急医薬品の寄贈・AEDの配備

県内の警察署・交番など750か所に救急箱を設置して、とっさの手段に備えるとともに、警察施設にAED(自動体外式除細動器)を配備し、県民の安全安心に役立てていただいております。



## 3 赤十字ポスターコンクール

県内の小・中・高・特別支援学校を対象に「いのちを守る赤十字活動」「つなげよう! 青少年赤十字」をテーマに作品を募集したところ、今年度は52校284作品の応募があり、32作品が入賞しました。



## 4 赤十字講習普及イベントの開催

「いのちのいずみフェスティバルwith西宮阪急・日本赤十字社」(4月)、「相生市連合自治会創立70周年記念事業-ふれあいまつり」(9月)に参加し、イオン明石ショッピングセンターでは「赤十字救急法ミニ講習会「知っていれば安心!～心肺蘇生とAEDの使い方～」(11月)を開催して、一次救命処置等の赤十字救急法の普及に努めました。



## 5 UR都市機構との連携による地域づくり

日本赤十字社とUR都市機構では2022年12月に「日本赤十字社とUR都市機構との連携に関する包括協定」を締結しており、共催のイベントとして住民の方を対象とした防災ワークショップを11月にUR浜甲子園団地で開催しました。



## 6 赤十字活動をPR

5月の赤十字運動月間を中心に、赤十字活動を広く知っていただくため、レッドライトアッププロジェクト、神戸まつりや、テレビ・ラジオ・YouTube・LINE広告に加え、シネアド広告などでPRしました。

開催日	イベント名	開催施設名
5月5日～11日	赤十字レッドライトアッププロジェクト	人と防災未来センター
5月8日		明石海峡大橋
5月28日	神戸まつり「おまつりパレード」	神戸市
7月14日～27日	シネアド動画広告	県内5劇場
通年	テレビ・ラジオ・YouTube/ LINE動画広告	メディア関係